

あかしまん

わが町、わが店、この道一歩。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbun.com> <発行所>あかい新聞店 武蔵野/加多美武蔵野字会337番地 電話<0569>72-0356 販売部/常盤市市街4丁目167番地 電話<0569>35-2861

2025年(令和7年)10月1日(休曜日) 第446号

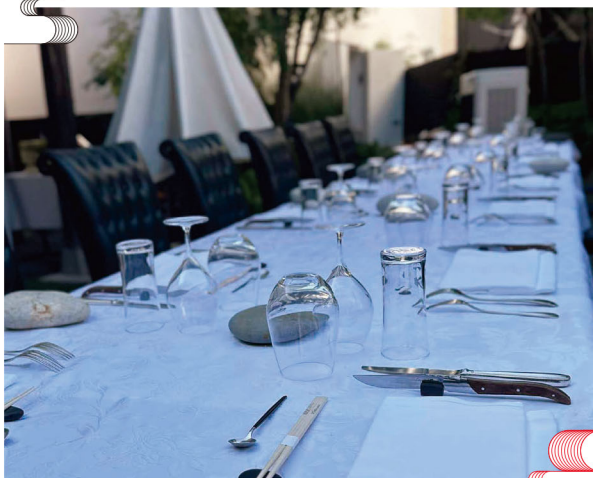
1886(明治19)年創業、地域とともに139年。

HCP Human Communication Partners
半田中央印刷株式会社

〒475-0032 愛知県半田市南千町1番地の21
TEL 0569-29-2525 FAX 0569-29-4500

PTC Group

企画・制作 株式会社 新聞ビル



ひいさま 藤間勘幸

NO.018

上弦の月、そよ風鈴
京がたり 夏の浴衣会

上弦の月、そよ風鈴、さざめく笑顔。

夏の終わり、四間道のとあるレストランで、京がたりの浴衣会が開かれる。

中庭に映画のようなロングテーブルを設えての特別な夜、有松絞作家さんが主宰されるこの会も、今年で六年目を迎えることとなった。

京がたりは中庭に隣接する蔵の中でお聴きいただく。江戸時代に作られた土壁に囲まれて、音楽と語りが心地よく反響する。高い天井から、音の粒が舞台と客席に柔らく落ちる。

見えるもの、見えないもの。時をこえて、あの世とこの世をつなぐひと時。

語りはおもしろい。絵や映画の鑑賞とは違い、同じことばを聴いても、心の中には聴く人それぞれに異なる世界が描かれる。この日の客人たちも、ひと時を蔵の中で共に過ごし、薄明かりの中でこぼれ舟に乗りながら、皆それぞれに糧を置き、時の波瀾を思い思いに行き来した。それぞれの懐かしい人たちに想いを馳せながら。

そんなひと時を過ごした後は、シェフが腕をふるう中庭のテーブルへ。打ち水と風鈴の音に暑さも和らぎ、夜空には上弦の月が煌々と煌めく。

読者の皆さまにも、動画でこの宴にぜひご参加いただきました。

ひいさま (松根裕美)

京都生まれ、京都育ち。
学生時代は日英を問わず朗読や作文に多く携わり、高校時代、東洋大学文学部学校茶道体験論文コンテストにて優秀賞受賞、第18回東洋大学ハイウェイセミナーに招待、京都府立ESS連盟主催英語朗読大会優勝、英語部副部長大優勝。大学時代、世界経済「下精神社」で十二世王初朗を学び、名月昇結成で数々の舞台、現在も故郷の舞台活動におよそ一校は両国市人ともカラーコーディネーター協会認定講師として、まもりの色こぼれに携わる各級レッスンやコンサティン、名古屋を中心に各地で展開、まもりのカラーワークやセルフと整えレッスンなど、地方や海外からも生徒が訪れる人気講座を運営。
インスタグラム⇒@hiromimatsune

あかしまん 藤間勘幸

1958年に名古屋で生まれ、1977年にデビュー。
日本舞踊家(宗家 藤間流 名秋)／楽師としてNHK「日曜美術会」や「花の舞・花の家」、義孝孟司(東京大学名誉教授)との「以心伝心・以身伝心」、久田寛一郎(小鼓流15代家元)との「秋月の真」など放送や舞台に数多く携わる。ア／編曲家として「世界デザイン博覧会」ア／作曲音楽、名古屋芸術芸術系演奏ア／作曲、関西三形会オケ、合奏曲「防犯観音大勢図」(深井丸、美西所蔵)、「おとほび」(あいちオカリナ フェスタ ア／作曲)、音楽版「浄土真宗 正信偈草四句目下」(光善山 阿彌陀所蔵)などを手掛ける。名古屋音楽大学音楽学部 作曲学科卒業、日本福祉大学 社会福祉学部を経て、現在、名古屋大学 教育学部にて講師。



ひいさま 藤間勘幸 幻燈館

文中で紹介した動画をYouTubeでご覧いただけます。
QRコードを読み取っていただくか、「藤間名残」で検索して下さい。



ひいさま 藤間勘幸の
ホームページはこちら

中日新聞
あかい新聞店

武豊 0569(72)0356
常滑 0569(35)2861